

197号の
主な記事

- 第3回定例会概要 1ページ
- 区長提出議案、議員提出議案、請願・陳情の処理状況 2ページ
- 代表質問、一般質問 3～5ページ
- 決算特別委員会の概要 6～8ページ

平成22年第3回定例会

平成21年度各会計歳入歳出決算を認定

補正予算を含む8議案と 尖閣諸島沖の日本領海を侵犯した中国漁船に よる公務執行妨害事件に関する意見書を含む 意見書4件と決議1件を可決

平成22年第3回定例会は9月27日から10月28日までの32日間の会期で開かれました。

この定例会には区長から、総額50億4000万円余を計上した一般会計補正予算及び特別会計補正予算を含む8件の議案、同意1件、報告5件が提出されました。

平成21年度各会計歳入歳出決算については、決算特別委員会を設置し、区政の課題など詳細にわたり審査を行いました。

決算の認定を含め、これらの議案はいずれも原案のとおり可決されました。

また、議員からは「尖閣諸島沖の日本領海を侵犯した中国漁船による公務執行妨害事件に関する意見書」、「田中健議員に対する再度の辞職勧告決議」（右に掲載）を含む7件の議案が提出され、継続審査となった2件を除き、それぞれ可決されました。意見書は関係機関に送付しました。

詳細は、区議会ホームページ、お近くの図書館、コミュニティ図書館、または区議会事務局をご覧ください。



↑平成庭園

田中健議員に対する再度の辞職勧告決議

田中健議員、あなたは高速道路料金の不払いを助長したとして、道路整備特別措置法違反容疑で平成18年に逮捕起訴され、本年9月、最高裁で200万円の罰金刑が確定した。

法令等は国民が守るべき規範だが、とりわけ多くの有権者から信託を受け公職にある議員にこのような刑が確定したことは大変恥ずべきことである。

このことは未だ公職の議員の身にあるあなた一人のみならず、江戸川区議会の品位に疑念を与えたばかりか、さらには江戸川区民の名誉も汚されたと感じている。

法制度上の失職事由は、禁固以上の刑であり、道路整備特別措置法違反の当該刑は罰金刑であり、失職にはつながらない。また、議会内の行為でないため、議会が除名という懲罰を科すこともできない。

このため、これまで江戸川区議会は、議員としてあるまじき行為をしたあなたに対し、起訴時の平成18年12月には問責決議、彦根簡易裁判所の判決のあった平成19年6月には、議員辞職勧告決議を行ってきたが、あなたは辞職の意思がなく今日に至っている。

江戸川区議会は、議員としてあるまじき行為をし、刑の確定した田中健議員に対し、ここに改めて、議員辞職を勧告する。

刑の重さを深く認識し、責任ある行動を求め。
以上、決議する。

平成22年10月28日

江戸川区議会

◎第3回定例会日程◎

- 9月27日 議案上程、委員会付託
- 29日 代表質問、一般質問
- 30日 追加議案上程、表決、一般質問
- 10月1・4・5・7・8日] 決算審査
- 13・14・18日]
- 19日 議案審査
- 21日 請願・陳情等の審査
- 28日 委員会報告及び表決



区長から出された議案

● 予算

- 平成22年度江戸川区一般会計補正予算(第2号) ※1
塩沢江戸川荘改修費など、11億8345万1千円を追加し、総額2154億1507万4千円とする。
- 平成22年度江戸川区国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)
30億4294万2千円を追加し、総額701億7066万1千円とする。
- 平成22年度江戸川区老人保健医療特別会計補正予算(第1号)
4535万5千円を追加し、総額1億523万1千円とする。
- 平成22年度江戸川区介護保険事業特別会計補正予算(第1号)
4億828万8千円を追加し、総額274億54万3千円とする。
- 平成22年度江戸川区後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
3億6688万2千円を追加し、総額85億9221万円とする。

● 条例(新規)

- 新川環境創生事業基金条例 ※1
新川に江戸情緒あふれる川辺の創生を図るため、新たに基金を設置し、当該基金を管理するに当たり、必要な事項を定める。

● 条例(一部改正)

- 江戸川区立コミュニティ会館条例 ※1
長島桑川コミュニティ会館を設置し、当該施設の使用料を定める。
- 東京都市計画事業瑞江駅北部土地区画整理事業施行規程
仮清算金の分割徴収に係る規定を定める。

● 同意

- 江戸川区教育委員会委員の任命同意 ※1
教育委員会委員に浅野潤一経営企画部長を任命。

● 報告

- 平成21年度江戸川区各会計歳入歳出決算の認定 ※2
決算審査の概要、各会派の意見、決算のあらまし等は、6～8ページに掲載しています。
- 平成21年度決算に基づく江戸川区健全化判断比率の報告
地方公共団体の財政の健全化に関する法律の規定による、平成21年度決算に基づく江戸川区健全化判断比率の報告。
- 専決処分した事件の報告
平成16年10月17日、小松川平井ふるさとまつりの会場内に敷設されたベニヤ板の段差につまづいて転倒し障害を負ったとし、提起された損害賠償請求事件について和解の専決処分を行った。
- 専決処分した事件の報告
江戸川区の私債権の管理に関する条例の規定に基づき、江戸川区生活一時資金貸付金の返済を求める訴えに係る和解について、46件の専決処分を行った。
- 議決を得た契約の契約変更
仮称江戸川区立東部地区図書館新築工事
既存杭の撤去等を追加実施したこと等に伴う増額変更及び地盤改良範囲の縮小が図られたこと等による減額変更。
上一色中橋架替工事(その2)
橋脚の築造に当たり、鋼管矢板基礎内において水と砂が湧き出したため、地質調査、地盤改良等を追加したこと等に伴う増額変更。
一之江駅南口広場地下機械式自転車駐車場整備工事(その2)
仮囲いを安価であり、かつ、耐風性の高いものに変更したこと等に伴う減額変更。

※印は賛否の分かれた議案

- ※1 賛成41(自由民主党、公明党、日本共産党、民主党、ネット・無所属、一人の会)
反対 1(みんなの党江戸川)
 - ※2 賛成35(自由民主党、公明党、民主党、ネット・無所属)
反対 7(日本共産党、一人の会、みんなの党江戸川)
- ※印以外の議案は全会一致で可決
会派の略称 ネット・無所属=生活者ネット・無所属クラブ

公職選挙法により、議員が選挙区内の人に年賀状等の時候のあいさつ状(答礼のための自筆によるものは除く)を出すことや金品を贈ることは禁止されています。

区民の皆様のご理解をお願いいたします。

議員から出された議案

— 意見書は各関係機関に送りました —

● 尖閣諸島沖の日本領海を侵犯した中国漁船による公務執行妨害事件に関する意見書(全会一致)

[内閣総理大臣、外務大臣、農林水産大臣、国土交通大臣、内閣府特命担当大臣(沖縄及び北方対策) あて]

尖閣諸島が我が国固有の領土であると言う毅然たる態度を堅持し、中国政府を始め諸外国に示すことや、沖縄県を始め我が国の漁業者の安全操業を確保する措置を取ることを国に求める。

● 新たな経済対策を求める意見書

賛成 29(自由民主党、公明党)
反対 13(日本共産党、民主党、生活者ネット・無所属クラブ、一人の会、みんなの党江戸川)

[衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、経済産業大臣、国土交通大臣、内閣官房長官、国家戦略担当大臣 あて]

来年度予算における公共事業費を維持・拡充し、地域経済・雇用の下支えをすることや、デフレ脱却に向けて政府が毅然たる意志を示し、日本銀行との適切かつ強固な協力体制を構築することなどを国に求める。

● 高齢者のための新たな医療制度に関する更なる議論を求める意見書

賛成 34(自由民主党、公明党、日本共産党)
反対 8(民主党、生活者ネット・無所属クラブ、一人の会、みんなの党江戸川)

[内閣総理大臣、厚生労働大臣 あて]

高齢者医療制度改革の本質たる財政問題をはじめとした諸課題に正面から取り組み、国の責任を明確にするとともに、再び大きな混乱をきたさぬよう拙速を避け、慎重に議論を尽くすことを国に求める。

● 議長に招集権を付与することを求める意見書(全会一致)

[衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣 あて]

現行の地方自治法においては、臨時会の招集請求権が議長及び議員にあるのみで、定例会・臨時会の招集権は長のみ付与されていることから、議長に招集権を付与するための所要の地方自治法改正を行うことを国に求める。

● 田中健議員に対する再度の辞職勧告決議

賛成 32(自由民主党、公明党、民主党の一部、生活者ネット・無所属クラブの一部)
反対 8(日本共産党、民主党の一部、生活者ネット・無所属クラブの一部)
棄権 1(みんなの党江戸川)

皆さんから出された請願・陳情

● 今回の定例会で新たに委員会に付託されたもの	付託委員会名
112号 東京都住宅供給公社の家賃値上げ中止に関する陳情	建設委員会
113号 発達障害児・者の支援に関する陳情	福祉健康委員会
114号 認可保育園および認証保育所の保育における料金格差是正についての陳情	福祉健康委員会
115号 中川左岸外郭防潮堤(上平井水門～西葛西区間)は過去の地盤沈下影響による護岸の亀裂、漏水など老朽兆候が表面化している以外にも課題が山積されていることから早期更新を図るため現行のスーパー堤防計画と異なる新たな方策について東京都への意見書提出を求める陳情	建設委員会
116号 容器包装リサイクル法を、発生抑制と再使用を促進するための法律に改正することを求める意見書提出についての陳情	生活振興環境委員会
117号 従軍慰安婦問題への対応についての意見書提出に関する陳情	総務委員会
118号 固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続について意見書の提出を求める陳情	総務委員会
119号 旧中川に合流下水を放流することを止めるよう東京都に意見書提出を求める陳情	建設委員会
120号 政務調査費の「支出項目別基準」の改正に関する陳情	議会運営委員会
121号 学校給食の栄養士を民間委託にしないことを求める陳情	文教委員会
○ 今回の定例会で取り下げられたもの	
58号 「協同労働の協同組合法の速やかな制定を求める意見書」の提出を求める陳情	
102号 「アルファグランデ五番街」10階建分譲マンション建設に関する陳情	

区政への質問

9月29日に代表質問及び一般質問、30日に一般質問が行われ、健診事業等の健康問題、高齢者所在不明などの福祉問題のほか、災害対策、都市基盤整備等区政全般の課題について活発な論議が展開されました。ここでは、質問と答弁の要旨を掲載しています。

代表質問



多田区政の継続、抱負を。健康文化都市の推進を!

自由民主党
やぶさき 一郎

問 国政が示すべき施策の方向がはっきりせず、世情不安定・不透明な中で江戸川区政だけは安心して見ていられるのは区長の存在にあると考える。この12年間の実績を踏まえ68万区民に勇気と希望を与える区政の継続について、多田区長の意気込み、抱負を。

答 3期を務め、区議会始め多くの区民の方々の大変な支援をいただき、江戸川区政は順調に進展してきたと思っている。政権も代わり、地方自治制度、道州制など枠組みがいろいろ話題になっている。また、区内についてもさまざまな重い課題が山積している。微力ではあるが、それらに対して取り組むのが使命と考える。全力を尽くして区政に邁進させていただきたい。

問 江戸川区長期計画の基本計画は、平成23年度で10年を経過し、一つの区切りを迎える。施策の推進に当って財源を確保することは必須であり、区民に勇気と希望を与える区政ビジョンを描くとすれば、行財政改革により財源を捻出していくほかないと考える。次の10年、区政が安定して発展していくための行財政改革についての区長の所見は。

答 20年のスパンで江戸川区のあり方を長期計画という形で決めさせていただき、10年が経ち折り返し地点となった。人口その他の状況は、当時見込んだものとほぼ変わっていない。しかし、世情は変わり区政環境も変わる。街づくりや災害対策、社会保障などさらに前進させていく課題があるので、新たな目標をつくるかについては再検討することになると思う。何と云っても行財政をさらに強固にすることが何よりの前提と考える。

問 区民が明るくいきいきとした生活を営む基盤となる健康都市江戸川区の推進について
①健診の受診率向上及び健診後のフォローについての考えは。
②歯と口腔の健康への取り組みは。
③がん予防の普及活動、がん検診の受診率の向上など、がん予防対策の今後の取り組みは。



歯と口腔の健康

答 ①受診率は上げていかなければならない課題であり努力していく。また個別に健診結果に基づく指導をしているが、より深めてい

く努力をしていく。

②小さいころからの対応と年齢を重ねてからも自分の歯を維持できるよう、歯科医師の方々と力を合わせて進めていきたい。

③受診率をもっとあげなければならないので、普及啓発を中心に早期発見、早期治療ということに結びつける努力をさらにしていく。

問 これまで区は災害対策を基本に、潤いと活力ある都市整備に積極的に取り組んできている。政権交代後、都市整備事業の財源が不安定な状況にあるが、安全・安心の街づくりの観点から区内にはまだまだ整備の必要な箇所がたくさんある。今後のさらなる防災都市に向け、市街地の整備に取り組む姿勢とその進め方についての決意を。

答 政権交代後、国のお金をどの様に使えるか判然としていない。地域主権戦略大綱が7月に定められ、一括交付金という制度をつくるということだったが、どのように配分されるか不明である。自治体が与えられたものだけで問題が決着すればいいが、国に担ってもらわなければならない事業があるので、これからも政府に要請していく。私たちの街づくりの歴史がここでくじけないようさらなる努力をしなければならない。



高齢者の孤立化防止と障害者対策の充実、他

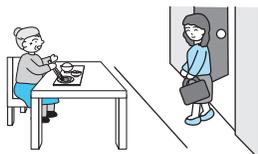
公明党
片山 たけお

問 景気、経済の低迷が続く中で、円高、株安の直撃を受け、早急な経済対策が望まれるが、政府に対する区長の所見と、今後の区政の見通しは。

答 政府には、一刻も早く確固たる景気浮揚のための、力強い政策を打ち出してほしい。生活保護の異常な増え方や非課税世帯に対する施策の拡大があるが、すべては経済状況の改善によって良い方向に向かう。経済を元気にする、このことを強力にやってほしいと願っている。

問 家族や地域とのつながりが希薄化していることが指摘されている中、高齢者所在不明の問題と高齢者の孤立化対策について

①高齢者の実態把握の仕組みづくりを。
②孤立化に対する「安心の仕組みづくり」は。



高齢者孤立化防止対策

答 ①プライバシーの問題など行政がどこまで介入していいものかという指摘もあった。戸籍は国の事務であるが、住民基本台帳は区の仕事である。すべての施策の基本は住民基

本台帳にあるので、実態に合わせるよう、早急に対応していく。

②区は見守りネットワークをつくっているが地域の方々、町会・自治会などと連携をとりながら、きめ細かく運用し、しっかりとした状況をつくっていききたい。

問 今後の障害者対策について

①自立支援法の改正案は廃案となったが、その後の見通しと「障害者総合福祉法」の検討状況、本区の障害者計画・第3期障害福祉計画は。

②施設利用が必要な中度障害者、重度障害者が増加傾向にあるが、通所施設の見通しと民間施設の充実支援についての考えは。

③障害者の親の高齢化が進んでいる。親亡きあとの問題について、保護者が安心できる体制づくりを。

④障害者が作製した製品を販売する場の確保は。

答 ①細かい情報がないが、国の様子を見つつ情報収集し、障害者福祉計画を実態に合うものにしていきたい。

②実態的な人数がわかっているので、それに見合った施設整備を今後もしていく。

③民間の方々の力を借りながら、地道に拡大していく努力をする。

④一般的な理解を深めてもらい、適切な場所で販売してもらえるよう、これからも努力していく。

問 江戸川の海と川とのふれあいの歴史を語り継ぐ情報発信の拠点を設置しては。

答 江戸川の歴史について発信することは折にふれてなされているが、これからもいろいろな方法でやっていきたい。

問 小岩のまちづくりについて、各地域別の検討状況は。また、安定した財源が必要と思うが、どう考えるか。区長の所見を。

答 積極的、情熱的に、それぞれの商店街、地域で相談がなされており、いい方向に進んでいる。しかし、国がどう支援してくれるのか、財政面の不安を払拭し、可能にする条件をつくれるよう全力をつくす。

問 北小岩地区のスーパー堤防事業について
①北小岩18班地区の現在の状況は。

②北小岩地区の現在の状況と今後の進め方は。

答 ①7年間いろいろ話し合いをしてきた。多くの方々の願いもあり、来年3月に東京都の事業認可を得て、事業化を進めていきたい。
②18班地区以外の地区については、地域の要望もさまざまなので、強引に進めていく考えはない。



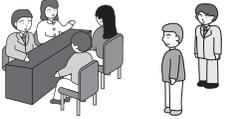
青年の雇用、水害対策18班スーパー堤防中止

日本共産党
藤沢 久美子

問 日本経済の自立的回復にとって、雇用、中小企業支援は最も大切な柱と考える。中でも青年の雇用は就職難や低賃金と深刻である。

青年の雇用を中心とした総合相談のワンストップサービス窓口として、サポートステーションの設置をすべきではないか。また、貧困の連鎖を断ち切るためにも、ひきこもり対策を本格的に始動させ、正規雇用につなげるセーフティネットを立ち上げることを提案するが区長の考えは。

相談窓口



青年の雇用

答 就労の問題は大変深刻であり、際限なく広がる課題である。少なくとも今以上に何か進められないかと検討している。NPOの活動もあるので、連携の仕組みをしっかりと考え、攻め込む課題だと理解している。

問 労働者派遣は臨時的・一時的な業務に限定し、本来、正社員として直接雇用すべき労働者を派遣に置き換える常用代替にしてはならないという原則に立った派遣法改正が求められている。国に対して労働者派遣法の抜本改正を求めている。

答 派遣法の改正については、派遣で働いている方々が十分な労働条件を確保できないことが問題の本質であるが、区内の中小企業のことを考えると、現在、審査されている法案どおりで良いか問題があると思っている。これから論議が始まると思うので、注視していきたい。

問 ポンプ所が集中豪雨で水に浸った場合は、排水機能が停止してしまう。現状の洪水対策として、スーパー堤防に多くのお金と時間を割くことは、内水問題への対策を遅らせ、区民を危険にさらすことになる。貯留管の設置やポンプ所の排水機能向上を急ぐべきと考えるが、区長の見解は。

答 区内には、葛西処理場も含め、7か所の排水機場があり、葛西処理場は言うまでもなく他の6か所もAP3.5mまでの浸水に対応できる。3.5m以上を止めるのと同様の対策を講じなければならないと認識している。また、水の出やすい場所については貯留管の設置を下水道局と調整し、取り組んでいる。

問 スーパー堤防と一体の区画整理事業で北小岩18班地区の強固な反対があった場合、事業を進める手段として、土地収用法に基づくような強制執行は行わないことを明言していただきたい。また、スーパー堤防事業は国の予算でまかなう事業と理解しているが、国の予算がどうなるか分からない中、これ以上区民の税金をつかって事業を行うことは許されない。いったん中止し、国の動向、住民の声を聞くべきと考えるが、区長の所見は。

答 相当数の方の理解をいただいていると認識している。また、18班地区内の方だけを見れば、圧倒的に多数の方が早く進めてほしいという気持ちを持っていると理解している。強制執行を念頭に置いて取り組むことは今までやったことはないし、あくまで話し合いの中で決着をつけていただくことを目標とし

ている。18班地区は区画整理事業をしっかりとやり、道路も十分な面積を取り、より安全な街にしていくことが大切ということもどなたも考えていることである。国の事業であるスーパー堤防と区画整理事業を組み合わせ、いい街づくりをしようと考えているのでご理解をお願いしたい。

一般質問



新小岩駅に江戸川区民の声を。バス空白域に新設路線を。

自由民主党 渡部 正明

問 来年、友好都市盟約30周年の節目を迎える鶴岡市との都市交流(促進)について

- ①次世代への友好の継承について、風化させない方策と工夫は。
- ②鶴岡市を交流や観光訪問した際の宿泊費補助など振興策は。

江戸川区 鶴岡市



都市交流

答 ①30周年を迎えるにあたり、記念的なことを催すことになるので、鶴岡市と具体的に相談をしていく。

②交流の拡大については課題であり、参考にさせていただく。

問 区公共施設に設置された自動販売機の管理について、設置者権益の透明性を高め収益を一元化し各社会福祉団体に公平な配分を。

答 管理を社会福祉協議会の一元管理に切り替えていくが、財政的な問題もあり、数年間の猶予期間をおいて進めたい。

問 行政区境の新小岩駅周辺のまちづくりについて

①江戸川区民の声をどの様に葛飾区行政に伝えるのか。また、新小岩まちづくり協議会への参画は可能か。

②新小岩駅南口の整備はどうなっているのか。

答 ①江戸川区民の利用は多いが、葛飾区の自治は尊重しなければならない。葛飾区が都市改造をやろうとしているときに、江戸川区の声も聞いてくださいとは言えるが、協議会に最初から参画させていただきとは言えない。②大きな改造をしないと駅の機能は向上しないと思うが、駅周辺整備は葛飾区が動かなければ前に進まない。

問 都市計画道路整備に伴う松江・中央地区の課題について

- ①バス路線の空白域に新設路線を。
- ②交番の存続を前提にした八蔵橋交差点改良工事を。
- ③首都高速7号線と中央環状の小松川ジャンクション計画については。
- ④小松川ランプの増改修は、密集市街地の東小松川や松江付近の環境の悪化が予測される

ため、都市計画審議会の決定を覆せないのか。

- 答** ①都市計画道路整備の進捗に合わせ、バス路線は全面的に再整備を検討している。
- ②交番の設置は必要であり、検討している。
- ③この時期の小松川ジャンクションの建設計画は、区民の利便性の向上や高速上に滞留する車も減らすことにつながる。
- ④手続きに則って決定したことを提案者から変更することはありえない。



児童虐待防止の観点から新生児家庭の全戸訪問を。

公明党 伊藤 てる子

問 妊産婦と新生児への支援について

- ①新生児家庭への全戸訪問の実施を。
- ②「こどもショートステイ」の実施を。
- ③子育てに関する相談体制の拡充を。
- ④子供への接し方を教える子育て講座実施を。



新生児全戸訪問

答 ①6500人中2000人以上は訪問している。相当な数に上るので、ハイリスク家庭に迫れる効果的な方法を探求していきたい。②近くモデルをつくりいろいろ検討していく。③地域も含め体制づくりをしていきたい。④さまざまな講座を実施しているが、研究させていただく。

問 うつ病の対策として早期発見、早期治療と社会復帰のために、今後どのように具体的な取り組みを進めていくのか、区長の所見を。

答 講演会や心の専門相談を充実させ、早期発見、早期治療に努め、NPOの方々との連携によって復帰支援を図っていく。

問 健康サポートセンターの土曜日の開所又は開所時間の週1回延長を。

答 ハローベビー教室などのように両親がそろって参加するような事業を中心に土曜日の開所等を考えていきたい。

問 バス利用の促進に向けて「バス利用ハンドブック」の作成や、ホームページ上での「バス利用システム」の導入を。また、バス利用モデル地区を定め、バス停の標識を高年齢者向けにするなどのバス停の整備推進を。

答 バス路線を有効かつ容易に利用できるような方策をトータルで考えていきたい。

問 防犯カメラの設置の推進を含む、葛西地域の防犯対策についての区長の所見を。

答 地域の活動を大切にしながら防犯カメラについて考えていく。

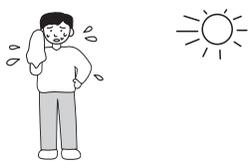


高齢者の見守り・待機児解消と虐待SOSの強化を

日本共産党 小俣 のり子

問 高齢者の福祉・介護・医療について

- ① 75歳以上の全高齢者の所在確認を行政の責任で。
- ② 高齢者の見守り相談室の設置を。
- ③ 区の施設を「熱中症予防シェルター」としての開放など、熱中症予防対策を。
- ④ 後期高齢者医療制度の見直しについては、高齢者の負担増にならないことを望むが、政府案についての考えは。
- ⑤ 特別養護老人ホームの増設を。
- ⑥ 介護保険制度における国の負担割合の引き上げを。



熱中症対策

- ① 住民基本台帳が行政サービスの原点であるので、実態とあったものとする努力をする。
- ② 先進的な見守りシステムが既にある。システムが効果的に運用されるよう努めていく。
- ③ 熱中症にはまず啓発で取り組むべきである。
- ④ 財源問題に切り込んだ議論をしないといい制度にはならないと考える。
- ⑤ 交渉は続けている。早い時期に実現したい。
- ⑥ 負担割合について法改正の焦点となっているので成り行きを見守りたい。

待機児解消・児童虐待について

- ① 待機児解消対策と保育への民間企業参入は。
- ② 「虐待SOS」の業務スペース確保は。また、子ども家庭支援センターを課として格上げを。
- ③ ①需要にこたえるべく努力している。保育内容が担保されれば企業でも一向に差つかえない。
- ② スペースは確保した。子ども家庭支援センターに課長は増やさないが、児童相談所の移管問題とともに、人材の配置は検討する。

**雇用対策と発達障害児
早期発見・療育支援体制**



民主党
えぞえ 亮一

雇用対策について

- ① 江戸川区における今後の区内産業の育成と地域雇用についての区長の所見は。
- ② 江戸川区独自の若者の雇用対策、就労支援についての考えは。
- ③ ①地域としてどういうことができるかということを探求していきたい。
- ② ヤングほっとワークえどがわの機能を拡大し、成果が上げられるよう研究していきたい。
- ③ 発達障害児支援について早期発見の機会となる乳幼児健診における質問項目の工夫や発達障害児の幼児期における支援体制、主に療育分野の方向性についての区長の所見を。
- ④ 比較的新しい分野であり、各自治体等の取り組みも始まったばかりである。当然施設的な問題もあり、実態を調査しながら適切な対応をしていく。



**若者の精神保健対策
指定管理者制度の指針策定を**

生活者ネット・無所属クラブ
新村 井玖子

- ① 若者の自殺の主な原因は精神疾患による。江戸川区の若年層の精神疾患の現状は。
- ② 保健室にカウンセラーを配置し、養護教諭との連携による相談体制の充実を。
- ③ 精神疾患に特化した相談窓口、施設などの一覧作成と若年層への予防のための啓発を。
- ④ ①自立支援医療費の受給者数から、ここ数年は200名前後で推移している。
- ⑤ ②相談しやすい体制整備に努めていく。
- ⑥ ③様々な機会をとらえて今後も行っていく。

指定管理施設における人件費の考え方、労働環境も含めた評価の方法、指定管理料の算定方法、選定委員会のあり方などについて、施設全体を網羅する、区としての指針策定を。

- ① 施設ごとに個性があり、一つにまとめることは無理がある。制度の趣旨に則り拘束することなく企業体の個性を推奨していきたい。



**未来・夢・現実の
方向性を問う**

自由民主党
須賀 清次

青少年の翼と次の世代を担う青少年への区長の思い、願いは。

- ① 貴重な体験を通して大きな感動を感じる、そういう機会を増やしていきたい。次世代には大きな志を持って、社会のために役立とうという思いを持ってほしい。

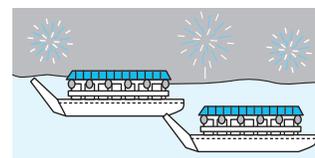
多田区長は本筋を失わず自分のやりたいことだからと言って、自分の心のおもむくままに行動せず、自らを律し、まず借金を減らし変化に備えてきた。多田区長のこの12年のまつりごとの評価と次に継ぐ6年先、10年先に向けたまつりごとについてのメッセージを。

- ① 区には独自の施策が多々あり、財政問題にはこれからも引き続き努力をしていく。
- ② 鶴岡市盟約30年にあたり、区民市民の今まで以上の友好が望まれるが区長の考えは。
- ③ 自然体のお付き合いができるのが望ましく、交流の層を厚くすることなど、一朝一夕にはできないがお互い努力をしていきたい。
- ④ 学童疎開先だった鶴岡市には風雪に耐えた木材が数多くあり、心を継ぐ木のぬくもりを学校改築へ届けられないか。
- ⑤ 学校建設の中で木材利用がどういう効果があるか見極めながら進めていく。
- ⑥ 東京スカイツリーの完成に伴う、観光客に対して、スカイツリーの東に位置する江戸川区として、区の観光の充実とともに、観光客の受け入れについての考えは。
- ⑦ 墨田区と相互連携し地域活性化に結びつけられるよう検討していく。
- ⑧ 区内各施設に回収ボックスを設置し、古

着・衣類を収集し再活用することについての考えは。

- ① 衣類についてはお金をかければ何かが出きと思うが、どれだけ資源利用とお金を投入するかというバランス問題もあるので、研究課題としたい。

今回の江戸川区花火大会でロープが絡まり、三隻の船が立ち往生した事故を受け、花火大会での船の航行についてのルールづくりなど事故防止の対策は。



船のルールづくり

- ① この種の事故がいままで全くなかったが、配慮しておくべきだった。いろいろ相談してルール化し、今回のような立ち往生した事故が起こらないようにしたい。



**発達障害児への支援の充実、
ゲリラ豪雨対策の推進を。**

公明党
関根 まみ子

発達障害について

- ① 増加に対応するため、育成室の拡充を。
- ② 通級学級の充実と特別支援学級の拡充は。
- ③ 教科書の内容を理解させるに有効であると言われていたデイジー教科書の普及・活用を。
- ④ 乳幼児期から青年期への一貫した支援を。
- ⑤ ①育成室以外の施設での対応を含め緊急の課題として取り組んでいく。
- ⑥ ②国・都の動向も踏まえ、特別支援教育検討会を立ち上げて取り組んでいく。
- ⑦ ③発達障害・視覚障害児に配慮した教材を用いた指導充実をこれからも図っていく。
- ⑧ ④必要なことなので、研究を進めていく。

近年、狭い範囲に短時間で大雨をもたらす局地的なゲリラ豪雨が多発していることから、さらなる内水対策の推進を。

- ① 下水道に貯水施設をつくり、対応することを下水道局と今後も取り組んでいく。
- ② エコスクールの推進の取り組みは。
- ③ 施設面だけでなく、運営面・環境教育面も必要なことから、学校版もつたいない運動を推進し、各学校の取り組みが進むよう応援をしていく。

新川の地域交流センターについての全体像と広場空間の充実や今後の防犯対策は。

- ① 環境、地域の活性化などどういうふうに組み立てるか、皆さんと知恵を出し合っていきたい。治安防犯はしっかりとやっていく。

一之江駅西口のバリアフリーのさらなる推進について、あらゆる可能性を調査研究し、東京都に要望して欲しいが、区長の見解は。

- ① 東京都もエレベーター設置が必要なのは重々承知している。技術的に難しい面があるので研究していきたい。



内水対策

決算特別委員会

決算特別委員会は、10月1日から10月18日までの間の8日間にわたって、一般会計と4特別会計の各決算について、予算が計画的かつ効果的に執行されたか、歳入歳出の執行について、慎重に審査を行いました。

委員会での審査を踏まえ、10月28日の本会議で採決の結果、平成21年度各会計歳入歳出決算は、賛成35・反対7で認定されました。

決算特別委員会委員(◎委員長 ○副委員長)

◎藤澤 進一	窪田 龍一	藤沢久美子	早川 和江
○片山たけお	堀江そういち	えぞえ亮一	セバタ 勇
小俣のり子	関根まみ子	滝沢 泰子	中里 省三
須田 哲二	田中 寿一	中道たかし	北川ひろし
新村井玖子	中山たかひと	うざわ悦子	渡部 正明
稲宮 須美	田島てつたろう	福本みつひろ	
木村ながと	間宮 由美	高木ひでたか	

委員定数 15名(委員の途中交代あり)



決算特別委員会の様子

平成21年度決算に対する各会派の意見

自由民主党(賛成)

平成21年度江戸川区各会計決算特別委員会の審査を行い、その審査の過程で明らかになったのは、以下の4点について実績をあげ、区民生活の向上、安全、安心に一層の力を注いできたことである。

第一に、特別区税、財政調整交付金が減となり、基金を42億円取り崩したものの、借金を増やすことなく行政運営を行うことができたこと。

第二に、「特別借換融資制度」の創設、定額給付金交付にあわせた「区内一斉商品券まつり」の開催など区内産業に活気が生まれたこと。

第三に、新型インフルエンザの流行に即応し、対策本部を設置するとともに、ワクチンの予防接種の助成の実施など、区民の健康と安心を守る態勢がつけられたこと。

第四に、区民の暮らしに密着した施設が開館充実し、建設中の施設も順調に進捗していること。

こうした実績をあげることが可能になったのも、江戸川区の財政の健全性があつたからこそと考える。

以上のことから区議会自由民主党は平成21年度歳入歳出決算の報告に対し、所期の目的を達成し、区民の期待に十分応えたものとして、認定に賛意を表する。

[主な要望]

○特別区税については、公平性の観点から、ICT(情報通信技術)の活用なども視野に入れて納税率の向上及び滞納取締強化を。

○平成24年4月からの庁舎全面禁煙に伴い、禁煙相談室の設置と職員の健康サポートに配慮を。

○住居表示について、新たな町名の合意が取れず、未実施の地域には行政が主導し、早急な対応を。

○熟年者を取り巻く消費者問題の中で、不正請求、悪質商法などが増え、多額の被害が発生しているため、繰り返し情報提供により啓発を。

○コミュニティ会館の地域的空白を解消し、施設の建設を。

○山形県鶴岡市友好都市盟約30年にあたり、鶴岡市への区民訪問交流に、さらなる支援を。

○たばこのポイ捨てに関する取締強化を。

○区民から最も施策の充実が要望されている防犯対策の充実強化を。

○個人宅等への太陽光発電設置の助成制度の導入を。

○障がい者自立支援法を廃止し、新たな障がい者福祉法を制定すると言われているが、今の制度の安定と定着をさせたのは地方の力であり、その努力を無にするような制度の廃案にはしっかりとした意見の発信を。

○病気の回復期において集団保育が困難な児童に病後児保育の施設が望まれるため、地域バランスを考慮したさらなる拡充を。

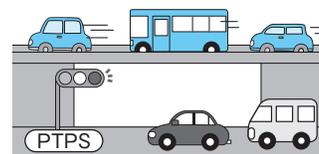
○虐待という悲劇を二度と起こさせないよう、子どもが一人の人間として命が守られ、生存、発達の確保を。

○誰でも、何処でも自立に向けた支援が受けられる体制整備の充実を図り、福祉から雇用への適切な生活保護行政を。

○全区民への新型ワクチン予防接種の周知と、多剤耐性菌へのしっかりとした対応を。

○伝統工芸や小松菜など江戸川区名産品の販路を、インターネット等を活用し拡大を。

○南北交通の重要性を考慮し、PTPS(公共車両優先システム)の導入を進め、メトロセブンの早期実現の努力を。



南北交通

○区画整理終了後には高さ制限を含め、定期的な用途地域の見直しを。

○自転車安全走行指導員は走行指導だけでなく、交通整理や防犯パトロールとの連携を。

○レンタサイクルの利用率向上の観点から一層のPRをするとともに、レンタサイクルポートの増設やGPSを活用しての自転車の位置を確認する管理方法の導入などの検討を。

○新川整備では整備済、未整備間の安全面、環境面での格差が生じないように着実な促進を。

○個々の学力状況把握のため、学力テストは悉皆方式の実施を。

○児童生徒の体力向上について、本区独自の体力テストを今後も実施し、より質の高い指導を。

○学校選択制についての実態調査のアンケートを実施し、成果や課題についての検証を。

○平成24年度に予定されている読書科の創設に向け、図書館との密なる連携をとり、学校格差なく読書へ取り組めるよう、日本一の読書の街への努力を。

公明党(賛成)

今わが国は不安と不満に満ちた世相で、特にその基本となる経済においては閉塞した状況が続いており、改善の兆しは見えず厳しさが続いているところである。

本区は今日までの徹底した健全財政への取り組みにより、効率的な行政体質を築きあげ、日本一満足できる江戸川区を目指し、区民第

一主義のもと力強く前進してきた。

未曾有の経済危機の中、本区の中小零細企業への支援や、区民を守る生活者優先の施策の実施、災害に強い街づくりを進め、区民が快適に住み続けられるかなどの視点から、また、予算執行にあたっては、最小の経費で、最大の行政効果を上げることができたのかを審査した。その結果、本決算内容は、妥当なものとの結論に至り、平成21年度江戸川区各会計歳入歳出決算を認定する。

[主な要望]

○区民の納税意識が高まる行政サービスに努め、区民から信頼される区政運営を。

○徴収については、公平・公正性の観点と共に納入しやすい手法や環境づくりを工夫し、徴収率アップの努力を。

○公共調達システムや契約・入札制度について、区内事業者の適正な競争や支援につながる側面を組み入れたシステムづくりを。

○深刻な状況におかれている若者の就労対策について、今後もお一層の適切で効果のある取り組みを。

○水辺のスポーツガーデン利用者のため、信号機や歩道の設置など、区民が安心して利用できるような安全対策を。

○高齢者の権利擁護について、成年後見制度の周知や手助けを始め、生活サービス、福祉サービスの提供などさらなる支援を。

○地域包括支援センターのさらなる拡充を。

○一人暮らしの高齢者について、高齢化に対応し行政と協力団体など地域力をフルに活用して新たなセーフティネットの構築、支援を。

○発達障害者(児)への支援については就学前の子どもから大人まで、各ライフステージをとおして一貫したサービスの向上と具体的な支援の早期実現を。

○障害者就労支援センターについて、途中退職者への対応を含め、事業者への強い働きかけとともに、さらなる就労支援への努力を。

○やむを得ず認証保育所に入園を余儀なくされている保護者への保育料助成の実施を。

○子ども家庭支援センターの拡充については評価するが、大事に至る前の対応について、今後も全庁総力を上げての機能充実を。

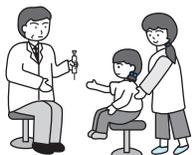
○区民の命を守るさらなるがん検診の拡充を。

○乳がん・子宮頸がんのクーポン券の無料配布については国が実施するまで、区としての継続を。

○子宮頸がん予防ワクチン接種については、接種率が低いことから、さらなる周知の徹底と対象年齢の拡充を。

○新生児家庭訪問指導について、育児不安や孤立化を防ぐよう全戸訪問指導を。

○ヒブワクチンの助成は高く評価するが、細菌性髄膜炎の予防のために、同時接種が望ましい肺炎球菌ワクチン接種の公費助成を。



ワクチン接種

○JR小岩駅周辺の街づくりについて、「100年栄えるまちづくり」を目指し、区として丁寧で、きめ細かな対応を。

○総合レクリエーション公園の周囲街路灯の早急な改善を。

○自転車専用道(ブルーレーン)について、区道への増設や国道、都道への設置要望を。

○うつ病対策について、「認知行動療法」の活用を含め、あらゆる機会を活用し、啓発や受診の場づくりのさらなる努力を。

○中学校で激増する不登校の対策について、中1ギャップへの未然防止策の充実、不登校の生徒や保護者の不安解消や学校の居場所づくりなど、個々の状況に応じた対策の充実を。

○特別支援学級における環境整備の充実や、発達障害の子ども達にとって有効なデジ教科書の導入を。

日本共産党(反対)

21年度決算の審査にあたり、江戸川区は財政効率を最優先に職員の削減や官製ワーキングプアを拡大し、区民サービスの低下を招く一方で、住民が強く反対するスーパー堤防の街づくりに、多くの税金を投入してきた。この区の姿勢は貴重な税金の使い道として、到底、理解を得られるものではなく、各会計決算の認定に明確に反対する。

[主な反対理由]

○児童虐待対策について、子ども家庭支援センターを、専管組織として課とする改善の姿勢が示されなかった。



子ども家庭支援センター

○多くの待機児がいる保育について、保育士を10年間採用せず、民営化を急ピッチで進めている。区立保育園の存続を願う区民、せめて入園を選択できるように民営化予定園を5年前に公表してほしいと願う区民の声を無視し続ける区の姿勢は、子どもを大切にするものとは言えない。

○区立幼稚園をなくす、学校栄養士を民間委託の栄養士に代えていく、学校図書館に専任司書は置かないという姿勢など、教育への予算削減の姿勢は容認できない。

○平成25年度に、中央図書館も含めた全図書館を指定管理者制度に移行する方針は乱暴である。図書館サービスの中核組織ともいべき中央図書館は区の管理に残すべきである。

○国民健康保険料の値上げは、高齢者や障害者など社会的弱者を医療保険制度から排除することにつながりかねない。国庫負担の割合を現在の20%台から1980年代の50%近くに戻すべきである。

○介護保険事業については、保険料の所得段階の細分化が徹底されず、23区最低である。また、特養ホーム増設見通しが明らかでない。

○後期高齢者医療制度では、保険料滞納者に対する短期保険証の発行は人道的に問題があり、発行すべきではない。

民主党(賛成)

2010年のGDP(国内総生産)の実質成長率は、1.4%程度で3年ぶりのプラス成長が見込まれている。しかしながら、円高基調であり、デフレスパイラルは止まらず、完全失業率は5.1%、完全失業者数は337万人となっており、今後の経済対策、雇用対策のさらなる強化施策が求められる。

一方、本区の財政状況は健全化判断比率に見られるとおり、極めて良好な状態にあり、わが会派は2009年度一般会計決算及び各特別会計決算について認定する。

[主な要望]

○税収の安定確保が求められていることから、特別区民税の収入未済に向けてのさらなる工夫を。

○精神障がい者の家族支援のために、東京都からの補助金の積極的な活用を。

○公益通報の取扱いに弁護士などの第三者の加入を。

○地域若年サポートステーションの設置も視野に入れて、若年層の就労支援を。



就労支援

生活者ネット・無所属クラブ(賛成)

財政危機と不況の中で区は積極的な施策が執行されたものと理解する。財政力指数には不安が残るものの、健全化判断比率の適正さは評価に値する。こうした視点から、私たちは各会計決算について認定する。

[主な要望]

○保育園の民営化について、対象園の公表時期を早め、十分な移行期間を設けること。おひさま園におけるゼロ歳児保育の開始により待機児解消を図ること。また、私立園、区立園それぞれの特色を活かした保育行政を今後も推進することを望む。

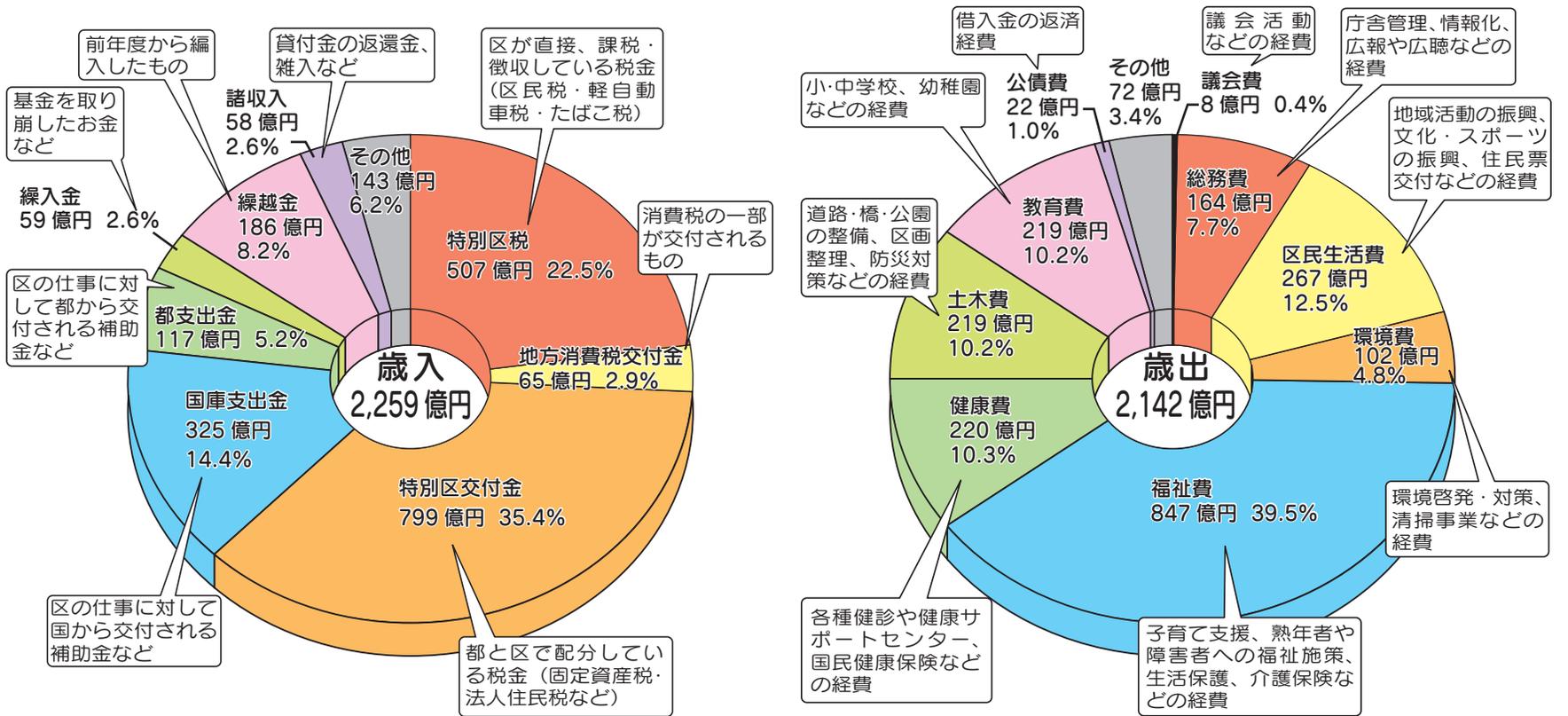


待機児解消

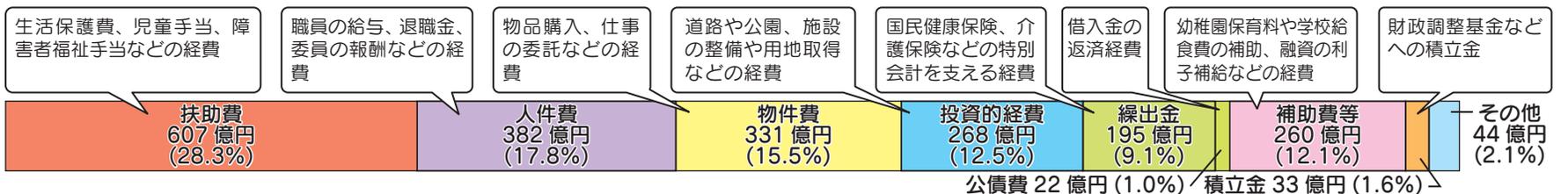
○スーパー堤防事業について①浸水想定に関する区の説明とほかの公的機関の示している想定との間に矛盾があり、住民との検証作業が重要である。②完成した平井の事業の行政評価を実施すること。膨大な税を投入する事業でありながら国の財政はひっ迫している現状を考えた場合、事業そのものの持続可能性が疑問であり、交付金を受ける自治体としても考えなおす必要がある。

平成21年度各会計歳入歳出決算のあらまし

一般会計



歳出の性質別内訳



特別会計

国民健康保険事業特別会計		老人保健医療特別会計		介護保険事業特別会計		後期高齢者医療特別会計	
歳入	696億円	歳入	3億円	歳入	262億円	歳入	79億円
歳出	665億円	歳出	2億円	歳出	259億円	歳出	75億円

金額及び構成比は表示単位未満を四捨五入しています。

.....平成22年第4回定例会開催予定.....

- 11月25日(木) 本会議(議案上程、委員会付託)
- 29日(月) 本会議(一般質問)
- 30日(火) 本会議(一般質問)
- 12月 1日(水) 常任委員会(議案審査)
- 2日(木) 各常任委員会(請願・陳情等の審査)
- 7日(火) 本会議(委員会報告及び表決)

※本会議は午後1時、各常任委員会は午前10時開会予定です。
 ※傍聴の手続きは、本会議は開会日当日の正午以降、各委員会は開会日当日の8時30分以降に区議会事務局で先着順に受付をしています。
 なお、定員がありますので詳しくは区議会事務局までお問い合わせください。TEL5662-5556

.....区議会ホームページ.....

URL <http://www.gikai.city.edogawa.tokyo.jp/>
 主な内容
 本会議の録画映像(本会議の当日は、ライブ中継も行っています)、議員名簿、本会議及び委員会の会議録、議案や請願・陳情の審査状況、会議予定、区議会だよりバックナンバー、議会用語の解説ほか

区議会ホームページは、ユニバーサルデザインのコンセプトに基づき作成しています。音声読みあげソフトへの対応や背景色、文字色、文字の大きさに配慮した構成になっています。ご利用ください。

区議会だより編集委員会(◎委員長 ○副委員長)

- ◎ 小 泉 としお 須 田 哲 二
- 川 瀬 やすのり